



信陽舎舎友会 拡大役員会 5月28日に開催

コロナ禍のため2年続きで延期となっていた第6回総会・懇親会でしたが、コロナ感染の収束の兆しが見え始めたため、9月開催を目指して準備を進めるために、5月28日（土）午後3時30分より新宿サンパークホテル2階「レストランはやしや大久保店」にて拡大役員会を開催した。

参加者は以下の22名、首都圏在住役員を中心に9月の役員改選を踏まえた新役員候補者の方々にもご参加いただき拡大役員会として実施。

【参加者〈敬称略〉】林史典（67）、牧内良平（91）、片桐勝臣（110）、深澤克巳（115）、福田璋夫（116）、福與卓臣（117）、伊原江太郎（147）、鈴木昭夫（154）、伊藤寿彦（162）、浅沼弘愛（172）、井上潔（173）、中村克己（190）、田尻美（207）、原誠（220）、山口章裕（222）、福澤秀志（266）、池野兼浩（298）、小林隆（354）、坪木崇（408）、田中淳一（470）、岩原優（580）、後田健太郎（593）

午後3時30分、まず事務局より第6回総会・懇親会の開催について以下のような概要の説明があった。

開催日時：2022年9月10日（土）午前12時（正午）開会（受付開始11時30分）

会 場：新宿サンパーク本館7階 スターホール（大ホール）

議 案：《決議事項》

- ① 2021年度事業報告及び会計報告並びに会計監査報告
- ② 2022年度事業計画並びに事業予算
- ③ 役員改選の件

《報告事項》

- ① 各支部報告
- ② 寮生活の現況報告
- ③ 法人運営報告

懇 親 会：詳細は8月27日（土）開催の次回役員会にて詳細を決定する。

上記総会での議案①～③の詳細については資料を参加者全員に配布した。④の役員改選の件に関しては、総会に提出する新役員及び役職案を提示し、参加者全員の了承が得られた。以上で役員会の議題は全て終了し、懇親会に移った。

午後5時50分、林会長の挨拶と乾杯の音頭で待ちに待った懐かしい仲間たちとの対面での懇親会が始まった。宴の途中、新役員候補者、続いて現役員の順にそれぞれがユニークな自己紹介をし大いに盛り上がった。80歳代から20歳代まで各年代が集まったが、世代を超えて親しく交えるのは信陽舎という共通のアイデンティティー故と確信した次第です。

次回役員会の8月27日（土）を確認し、午後5時30分に解散となったが、久しぶりの楽しさに別れがたく二次会に向かう組もいたようだ。



挨拶する林史典会長 《会場：新宿サンパークホテル2階「レストランはやしや 大久保店」》

【信州の明珠財宝 ⑨】 国指定・重要文化財 旧中込学校（佐久市中込 1877）



国宝・旧開智学校の完成より一年前の明治8年（1875年）完成。国内の学校建築のうち現存する最古級の疑洋風建築物として国指定の重要文化財及び国の史跡に指定されている。旧開智学校と並び明治期より「教育県」と謳われた長野を象徴する学校建築物。

河竹 繁俊 舎友No.23 (大塚台) 在寮期間：明治40年～44年。1889年(明治22年)6月9日生。1967年(昭和42年)11月15日没(78歳)。飯田市山本出身で本名は市村繁俊。飯田中学から早稲田大学英文科へ。早大生の時に坪内逍遙の文芸協会演劇研究所に入る。1911年早稲田大卒時に坪内逍遙の推薦で河竹黙阿弥の娘・糸女の養子となり河竹繁俊と名のる。(注：河竹黙阿弥は江戸、明治期最大の歌舞伎・狂言作者) 早大教授・早大演劇博物館館長。1956年 第4回菊池寛賞受賞：「多年にわたる歌舞伎研究」が受賞対象。1960年 日本学士院賞受賞：「日本演劇全史」が受賞対象。1967年文化功労者受勲。日本演劇学会の初代会長となり逝去まで務める。2008年**早大演劇博物館名誉館長**の称号を授与される。演劇学者の河竹登志夫は次男。

加納金三郎 舎友No.43 (大塚台) 在寮期間：明治42年～大正2年。1891年(明治24年)5月8日生。1963年(昭和38年)10月7日没(72歳)。飯田中学出身、1913年(大正2年)東京高商(現・一橋大学)卒。1913年(大正2年)帝国海軍に任官。1938年(昭和13年)11月海軍主計少将。1956年9月財団法人信陽舎**第2代理事長**に就任、1960年6月まで務める。信陽舎の武蔵境寮再建の功労者。

日夏耿之介 舎友No.49 (大塚台) 在寮期間：明治43年～。1890年(明治23年)2月22日生。1971年(昭和46年)6月13日没(樋口国登)(81歳)。飯田市知久町の樋口家の長男として生まれた。本名は樋口国登(くにと)で母・以志は、信陽舎創建時の功労者で社会学者、代議士・樋口秀雄(龍峽)の姉。詩人・英文学者として活躍。広範な学識と多岐にわたる文学活動で「**学匠詩人**」と称された。飯田中学から早稲田大学。文学活動を通じて西條八十、堀口大学、芥川龍之介、萩原朔太郎と親しく交わった。飯田市愛宕公園の市立美術館の隣に**日夏耿之介記念館**がある。

タイムスリップ 《戦時下の信陽舎馬橋寮生たち》

馬橋時代の舎友・高安健之(たけし)さん(馬橋舎友No.115、在寮期間：昭19～21)の記憶

信濃毎日新聞(2021年9月)「疎開医学生 育てた飯田の街・市内食堂で下宿受入れの契約書発見一現東京医大 地元の医院 拠点に」という記事からの抜粋。

高安さんは疎開前、東京都杉並区にある飯田下伊那出身者向けの学生寮「信陽舎学寮」で暮らしていた。戦況が悪化すると、30人ほどの寮生のうち文系の学生に召集令状が届き、一人また一人と出征。帰らなかった友人もいた。出征する友人を見送るために阿佐ヶ谷駅前で円陣をつくり「信濃の国」を歌ったという。「出征する友人が『いつもみたいに元気に歌ってくれ』と言うので余計に泣けた」45年5月の空襲で寮は全焼。

その後間もなく故郷の飯田に疎開し、戦後に医師となった高安さんは「同じ若者でも戦地で死ぬ者と田舎で勉強していた者に分かれた。非情な区別だった」と振り返った。

終戦間際の1945(昭和20)年6月に飯田市に疎開した東京医学専門学校(現・東京医科大学)が、学生を下宿させるために同市主税町(ちからまち)の食堂「満津田(まつだ)」と交わした賃貸借契約書が5代目店主・松田道彦さん(69)により同店の蔵で見つかった。・・・食堂(「満津田」)は同市の旧市街地に位置し、松田さんは「この辺りの旅館や料亭は戦時中は商売にならず、部屋に余裕があったので学生を受け入れたのではないかと話す。同市出身で当時同校(医専)の2年生だった元医師・高安健之(たけし)さん(95)=飯田市通り町=や東京医科大学によると、高安さんの父で同校卒業生の康裕さんは通り町に外科「高安病院」を開業しており、医専は高安病院を附属病院として疎開中の拠点とするよう康裕さんに依頼。45年6月～10月まで附属病院となり、康裕さんは学生への講義も受け持った。講義は市内の丸山小学校や天理教寺院などでも行われ、高安健之さんも実家ではなく下宿先から通って学んだ。〈新聞資料提供：五島久揮(舎友No.176)さん〉

馬橋時代の『財団法人 信陽舎』

〈専修大学大学史資料室の山田兼一郎氏が杉並区の図書館で見つけて提供いただいた資料〉

『東京市 杉並区勢概要』 昭和十五年版 東京市杉並区役所

《官公庁及団体》(197頁)

六. 法人

1. 財団法人

昭和十四年十二月末日現在

名称	事務所所在地	電話	理事者名	設立許可年月日	目的
信陽舎	馬橋 3-390		柳田直平 今村力三郎	大正 13、7、31	長野県下伊那郡出身者又ハ同郡二特別縁故アル子弟ヲシテ其ノ学業ヲ修メ国家有用ノ材ヲラシム

この資料によると、この時期に柳田直平氏と今村力三郎氏が理事を務めていたことが分る。なお、山田兼一郎氏(専修大学大学史資料室)から『舎友の日夏耿之介(舎友No.49、本名：樋口国登)が馬橋寮近くの阿佐ヶ谷に住んでいて、時々寮を訪ねて若い寮生と交流していた』との情報もいただいた。



南信支部報告 【南信支部役員変更】

舎友会事務局の福與さんが飯田に来られるのを機会に、急遽南信支部役員有志で懇親会を開くことになり、2022年7月9日（土）午後6時、シルクホテルのレストラン・フルフルに、福與卓臣（117）、尾畑明（150）、五島久揮（176）、深津徹（184）、今村行人（200）、池野兼浩（298）、神藤駿介（606）の7名が集まった。席上、南信支部では昨年3月22日に会長の下平肇さん（87）が、7月7日に幹事長の常盤昌昭さん（136）が逝去されたこと

で、会長と幹事長の職が空席となっていたが、支部幹部で話し合い調整した結果、右記の通り新役員が決定したと五島新幹事長から報告があった。また、舎友会の活性化のために次回第7回総会・懇親会は、北信支部と中信支部の合同開催ということで松本で開催し、以降、隔年で東京と信州とで交互開催にすることでより多くの地元舎友の参加が得られるのではないかと提案などがあり、とても有意義な懇親会となった。 【池野兼浩記】



- 【会 長】坂 好章（99）
- 【副 会 長】尾畑 明（150）
- " 金田 憲治（164）
- " 深津 徹（184）
- 【幹 事 長】五島 久揮（176）
- 【副 幹 事 長】水上 勝秀（195）
- " 森山 幹夫（196）
- " 今村 行人（200）
- 【事 務 局 長】池野 兼浩（298）
- 【副 事 務 局 長】下岡 祥平（524）
- " 御子柴優樹（597）
- " 神藤 駿介（606）



舎友便り



原田守啓画伯（舎友No.18、1957年入寮）第5回個展と画集発行

舎友の原田守啓さんは、平成2年（1990年）5月に財団法人信陽舎の理事に就任し、平成9年からは理事学監として21年間、さらに公益法人の認定を受けた平成23年（2011年）4月からは評議員として令和元年6月の退任までの8年間、併せて29年間の長きにわたり信陽舎の運営にご尽力いただきましたが、その間も暇を見つけては画材を担いで山や海へ、はたまた海外へと作画取材に出かけられ数多くの見事な作品を描かれました。

創元展をはじめ日展などで入選の常連となり、世に認められ、創元会会員、同展審査員、日本美術家連盟会員、旭美術協会会員として現在も活躍されている。今年4月の最終週に銀座の「ギャラリー暁」にて第5回個展を開かれたので素晴らしい作品を鑑賞させていただいた。その折、同時に出版された画集もいただいた。



個展会場の「ギャラリー暁」の原田守啓画伯

ここに原田さんご本人の承諾をいただいた上で、個展会場の写真、第81回創元展で文部科学大臣賞を受賞した作品と頂いた画集の一部の写真を掲載させていただいた次第です。原田様ありがとうございました。【福與記】



第81回創元展(2022年)文部科学大臣賞作品《西国の札所》



個展会場内の展示作品



原田守啓 画集《1旅の一隅》1983 - 2021 Art Works



訃報 ご冥福を！ 物故者 65名 (武蔵境寮以降)

中山 卓（舎友No.103 在寮期間1962～1966）さん 令和4年6月20日ご逝去。6月21日、松本在住の舎友・小池章さん（76）と竹村治恭さん（140）からご一報をいただきました。中山卓さんは舎友会中信支部会長として寮並びに舎友会の運営に大変ご尽力いただきました。ここに感謝の意を込めて心よりご冥福をお祈りいたします。

転居通知

転居先住所は、個人情報保護のため表示を差し控させていただきます。連絡等で詳細をお知りになりたい方は、お手数ですが事務局までお問合せ下さい。

- 田中 寿 (369) : 総会は欠席いたします。引越しをして住所が飯田市丸山町に変わりました。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
- 五島 章仁 (406) : 月に2度ほどは飯田の実家に帰ってきますが現在は松本市に居住しております。(父親・五島久揮さん(176)からの便り)
- 田中 洸哉 (536) : 小笠原村に1年9カ月(2020年10月~2022年6月)過ごし、転勤により東京都足立区伊興に引っ越ししました。
- 山崎 達也 (584) : 川崎市麻生区に引っ越ししました(第6回総会出欠返信ハガキでの報告)。
- 後田健太郎 (593) : ご無沙汰しております。後田です。舎友会役員や法人役員といった貴重な経験をさせて頂けること、大変感謝しております。大学卒業後も寮に関わるのは懐かし嬉しいですし、弁護士として法人の外部から関わることはあっても、内部機関として活動できることは、そうそうないことですので勉強になります。今後の予定ですが、4月6日に神奈川県小田原市に引っ越し予定です。住所は、神奈川県小田原市になります。新宿までは電車で約1時間半くらいですかね。近いようで遠いような絶妙な距離感になりますね。今後とも宜しくお願いします。(注:9月改選の舎友会役員並びに法人役員(監事)への就任(本年6月)を快諾して頂いたことへのお礼のメールに対する返信メールより)
- 松澤 直紀 (596) : ご無沙汰しております。寮を出てから一度引っ越しを挟んで、現在は東京都千代田区二番町に移転しました。ご連絡が遅れて失礼いたしました。何卒宜しくお願いいたします。
- 後田雄太郎 (612) : 東京都多摩市多摩ニュータウンに引っ越ししましたので宜しくお願いします。
- 丸山 昂之 (613) : ご連絡ありがとうございます。返信が遅くなり申し訳ありません。仕事の関係で引っ越しをしたため住所が神奈川県海老名市に変わりましたので確認のほど宜しくお願いいたします。
- 小林 尚登 (633) : 勤務地に近い栃木県宇都宮市今泉町に住所が変わりましたので宜しくお願いいたします。

《 第6回総会への出欠返信ハガキ通信欄より 》

- 神原 雅直 (S3) : 決算では大変お世話になりました。また、素晴らしい会報「武蔵野」10号も有難うございました。内容盛り沢山で楽しませて頂いております。9月10日の総会も楽しみにしております。久しぶりに皆様にお会いできるのを嬉しく思っております。
- 宮川 章義 (14) : 信陽舎卒業後63年目、今年はまだ信陽舎に行っていないが、長年信陽舎に足を運び学生や寮母さんと交流するのを楽しみに生きてきました。舎友のみなさんと会えるのを楽しみにしています。
- 原田 守啓 (18) : 総会の盛会を祈ります。信陽舎 永遠なれ!
- 松島 稔 (24) : 中島敏晴さん(舎友番号45)が令和3年3月21日に81歳で永眠されました。(編集部:会報第9号の訃報欄に掲載)
- 椎名 治一 (34) : 難聴を患っておりますが元気しております。役員の皆様方ご苦勞様でございます。舎友会のさらなる充実を期待しております。
- 高間 成之 (38) : すばらしい「会報」を毎号 感激して読ませていただいています。
- 古島 史雄 (47) : コロナ疲れもさることながら、歳には勝てぬと思うこの頃です。重荷となってきた家庭菜園ですが、失敗尽くしの春作でも多少は家計の足しになったのかな? 夏秋作はどうなることやら。
- 安藤 光弘 (52) : 舎友会報、毎回 懐かしく拝読しています。皆様の健康とご活躍をお祈りします。
- 浜 国昭 (65) : 50年連れ添った妻が亡くなって1年2カ月、男の無能を悟っています。退寮して60年、人生80歳を超えて残りの旅を数える今日この頃です。不良OBは今回も欠席します。ご参会の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしています。林史典会長によりしくお伝え下さい。
- 小池 章 (76) : 前立腺治療のため総会は欠席いたします。ご盛会を祈念しています。
- 神波 潔 (85) : 司馬遼太郎が好きで「街道をゆく 13 壱岐・対馬の道」を読み、壱岐、対馬に行ってきました。コロナ渦の前までは韓国から年間30万の人が訪れたといいます。今は寂しい島でした。
- 中田 茂 (96) : 総会は欠席いたします。盛会を祈念します。
- 坂 好章 (99) : 宿病の腰痛が思わしくありません。盛会を記念いたします。
- 中田 茂 (102) : 総会当日は所用があり欠席させていただきます。ご盛会を祈っています。
- 中山 卓 (103) : 体調を崩しておりますので総会は欠席とさせていただきます(便り後、6月20日にご逝去)。
- 池神 利勝 (109) : 体調不良により欠席します。ご盛会を祈ります。
- 小平 国俊 (113) : ご通知有難うございます。昨年のことになりますが、伊賀良の常盤昌昭さんの訃報を新聞で見て、高校の同級生だっただけにショックでした。私は60歳まで地元のジュース工場に勤めていて、彼は毎年リンゴのジュース加工に来てくれていました。大きな声で陽気に話して、いつも明るい気持ちにしてくれたものでした。
- 深澤 克巳 (115) : 私には広すぎる畑の世話とテニス、ゴルフ、海釣り・・・健康的な毎日を過ごしています。
- 竹村 治恭 (140) : 会報を楽しませて頂きました。信陽舎50年史は私の知らない事が多く、先人の情熱と努力に頭が下がります。舎友便り、寮生活便りは、信陽舎の過去、現在の様子が分かり感慨深いです。会報の発行努力に感謝しております。
- 原 鍊造 (144) : ご連絡が大変遅れて申し訳ございません。第6回総会・懇親会に参加いたします。



【唐招提寺・如来形立像】

《 第6回総会への出欠返信ハガキ通信欄より 》

- 平沢 忠明 (145) : 総会の盛会をお祈りいたします。舎友会報「武蔵野」いつも興味深く読んでおります。
- 尾畑 明 (150) : リニアの工事事も徐々に進み、近辺の風景もどんどん変化しています。後5年から8年後の予定ですが当方が乗れるかは？
- 葛岡 龍夫 (151) : 妻の介護のため総会には参加できません。介護専従になって1年です。パーキンソン病、認知症、糖尿病、乳ガンと戦っています。葉が多くて大変です。
- 仲田 哲夫 (155) : 会報「武蔵野」楽しんで拝見させていただきました。“学生寮運営難の時代”関係する皆様には大変ですが頑張ってください、よろしくお祈りいたします。9月10日の総会は欠席しますが、皆さんによろしくお伝え下さい。
- 松山 順治 (158) : いつもお世話になっております。総会・懇親会は欠席いたしますが、盛会でありますようお願い申し上げます。
- 櫻井 康夫 (166) : 皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍を明るく元気で乗り切りましょう！あと少しです。
- 浅沼 弘愛 (172) : 5月28日(舎友会拡大役員会)はお疲れさまでした。懇親会も久々に「生で」新メンバーと共に大変力強く思いました。会報10号 興味深く拝読いたしました。有難うございました。福與さんの携帯が尻切れトンボです(?)。
- 井上 潔 (173) : 役員会(5月28日)の折はお世話になりました。久しぶりに懐かしい方々と会うことができ楽しい一時が過ぎました。
- 遠山 正信 (181) : 孫のアッシーと家庭菜園で忙しかけております。
- 中村 克己 (190) : 先日、50年振りに武蔵境駅に降り立ち、その変貌ぶりにビックリしました。線路の高架化に伴い、風景がすっかり変わりました。そして、新しくスタートしている“信陽舎・春秋館”の中も拝見できて大変嬉しく思いました。また、今回送付して頂いた“会報10号”を読み、その歴史の長さや深さを感じた次第です。同時に、900名を超える卒業生が各地で足跡を残し、活躍している事をしみじみと感じた次第です。今後とも宜しくお祈りいたします。
- 鳴海 雅治 (192) : 埼玉県羽生市の利根川べりにて田舎暮らしをしています。皆様、くれぐれもご無事で！！
- 前澤 孝一 (193) : 残念ですが、総会は欠席いたします。前回と同様の理由ですが、近くに住まいする妻の母が高齢故、この状況下ではまだまだ自分達も行動を自重しなければと思っているところです。会のご盛会と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
- 森山 幹夫 (196) : 飯田のキャッチコピーは「リング並木と人形劇の街」です。1979年にスタートした“人形劇フェスタ”は今年で43年目、コロナ禍、今年も海外劇団は参加できませんが、多くの国内劇団が飯田に集まり、フェスタが無事開催されるよう祈念しています。
- 今村 行人 (200) : 盛会をお祈りいたします！コロナ禍、色々な自粛をしてきましたが、最近ではコロナ前と変わらない生活をしています。
- 山口 章裕 (222) : 総会出席いたします。楽しみにしております。
- 塩澤 明 (230) : 会報「武蔵野」を送っていただき有難うございます。懐かしい思い出を見ました。総会は都合により欠席しますが、皆様お元気でお過ごしください。
- 杉本 研一 (254) : 毎回、充実した内容の会報をご恵送いただき有難うございます。林会長さんや福與事務局長さんはじめ役員の方々のご努力で舎友会が隆盛を誇っていることに改めて感謝申し上げます。
- 田中 誠一 (262) : 初めて奨学金の係をしてみて、「入り」の話だけでなく、「出」の工夫 = 寮の利用も訴えてみました。まとまった資料でもあったらいいなと思いました。
- 福澤 秀志 (266) : 総会・懇親会出席いたします。久々に皆様とお会いできるのを楽しみにしております。
- 山口 益弘 (270) : 会報10号舎友便りの杉本研一先輩の記事を楽しく読ませていただきました。
- 福澤 淳一 (282) : 土曜・日曜の地域ボランティア活動のため、総会は欠席とさせていただきます。
- 岩原 伸 (290) : 会報、楽しく拝見させていただきました。寮祭の五平餅作り、懐かしく思い出しました。私の大学時代は、大学はもちろんですが、寮生活抜きでは語ることはできません。大きなものを得させていただきました。そういえば「武蔵野の初夏を楽しむ会」もありましたね。
- 高野 雅彦 (302) : 3年ぶりの総会開催で大変喜ばしい限りではありますが、会社規則ではまだまだ会食に関しては緩和されておらず、誠に残念ではありますが欠席とさせていただきます。
- 大平 正章 (323) : 早くコロナが収まって自由に上京したいものです。
- 安藤 道彦 (366) : 総会案内や会報を有難うございました。
- 佐々木優一 (572) : この度は残念ではございますが総会は欠席させていただきます。ようやく世の中に明るい兆しが見えてきました。お身体に気を付けてお過ごし下さい。
- 神藤 駿介 (606) : 大変残念ですが出張予定があり総会は欠席させていただきます。早いもので、入社4年目を迎えました。信陽舎OBにも入社いただけるよう頑張っております。人事の仕事は奥が深く、日々勉強ですが楽しく暮らしています。
- 伊東 丈 (616) : 《母親・伊東ゆかり様より》ご無沙汰しております。寮生活の間、大変お世話になりました。本人は現在、奈良県の総本山長谷寺にて修業中です。5月16日から7月17日迄の60日間はお堂にこもり、朝から晩まで護摩祈祷と読経を続け、外界との接触も無い加行という修業をしております。令和5年3月末に本山を卒業し、僧侶としての人生をスタートします。上京する機会があれば、寮へご挨拶に伺うと思っております。寮の益々のご発展と関係者皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。追伸：素晴らしい内容の会報を拝読いたしました。大切に保管し、本人に見せてあげたいと思っております。有難うございました。



【興福寺・五部浄像(八部衆像)】

令和4年度新入寮生歓迎会

協同生活の資質を備えた頼もしい新入寮生たち

本来であれば4月23日に開催予定であったが、寮生からコロナ陽性者が出たことで延期になっていた新入寮生歓迎会が3週間遅れて開催された。参加者は、新入寮生13名に先輩寮生9名（藤原改君は都合で欠席）、理事は伊原、池野、田中、岩原、福與の5名、長谷川寮母さんの総勢28名であった。

定刻の午後6時、先輩寮生、理事、寮母さんが拍手を以て迎える中、中村寮長に引率された新入寮生13名が入場し全員席に着いた。

五味副寮長の司会により先ず太田副寮長が開会宣言、続いて中村寮長による開会の挨拶、理事長挨拶、池野理事の乾杯の挨拶とつづいて和やかな歓迎の宴は始まった。

しばらくは寮母さんが腕を振った美味しい料理に舌鼓を打ちながら懇談、この日の主役は新入寮生なので、料理の給仕や飲み物のお酌をするなど、サービスに徹する先輩寮生たちの姿は信陽舎の伝統的なもので、とても家族的でほほえましい光景が繰り広げられた。

なごやかに空腹を満たしたころ、新入寮生が一人ずつマイクを握り、出身高校、進学先、趣味など自己紹介を行った。みんな緊張していると思いきや、例年と違い堂々としていて予想外に多弁なのには驚いたが、今年に入寮して1年半も寮生活を共にしていたので、互いに気心が知れていたためと合点した次第。余興では恒例の藤原君のピアノ演奏と歌は、残念ながら本人が欠席なので何が披露されるのかと思いきや、新入寮生の小山うる君がサングラスをかけてマイクを握り、アカペラで歌（日本語と英語）を披露、その格好の良いサングラス姿と歌のアンバランスさが拍手喝采を浴びた。続いて、新入寮生の平出拓也君と小倉稔君のコンビがアカペラで歌を披露したが、松崎優大君が歌詞を書いた画用紙をテロップ（アンチョコ）代わりにかざしている様は、政治家の記者会見の棒読みを想像させ笑わせてくれた。歌の良さに関しては年寄理事には理解できなかったが若い寮生たちには大いに受けていた。次に新入寮生の横山流星君と滝澤和士君がコンビで登場、アニメ“ドラゴンボール”の格闘シーンをお笑い芸人のごとく演じていたが、これも年代のギャップで年寄りには何をしているのか理解の域を超えていた。最後に先輩の五味零弥君が得意のヒップホップダンスを披露、今回は自ら創作した作品で、身体的全関節を外し、脳からの指示を無視して手足が自分勝手に動き始めたかのような器用なダンスには皆感心しきりだった。

楽しい宴もあつという間に時間が過ぎてしまったため寮歌斉唱は省略し、全員で集合写真を撮って午後8時に閉会となった。

今年にはコロナの影響で開催が3週間ほど遅れたことで、新入寮生たちもその間に寮生活に馴染むことができたようだ。特に今年の新入寮生たちはみんな自治活動に積極的に参加しようという気持ちが表れていてとても頼もしい印象を受けた。

13名という大人数でありながら個性豊かで結束力もあり、性格も素直で共同作業には進んで関わるなど、寮生活（共同生活）には理想的な資質を備えており、10名の先輩寮生たちの方が圧倒される雰囲気があるくらいで将来が楽しみだと感じた次第である。

（運営記録より）



小倉 稔君



平出拓也君



穂川輝多君



佐藤大地君



滝澤和士君



横山竜星君



永原拓実君



児玉光輝君



小林透羽君



伊藤拓実君



松崎優大君

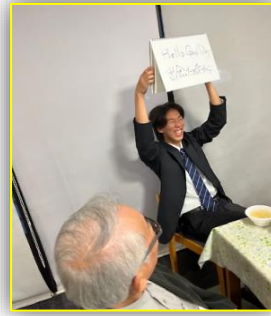


小山うる君



宮島 脩君

令和4年度新入寮生歓迎会



余興に真っ先名乗りを上げたサングラス姿の小山ういる君、アカペラでかっこよく歌う姿はプロの歌手並みだが歌が聞けないのが残念無念！

アカペラで歌う平出拓也君と小倉稔君だが、なぜか観客の視線は前方にくぎ付け！ よく見れば、そこには政治家の記者会見同様にアンチコテロップを笑いながら掲げる松崎優大君がいた。



横山竜星君と滝澤和士君によるアニメ「ドラゴンボール」の格闘シーン？ 年配理事の理解を超えた演技

五味零弥君がヒップホップダンスで先輩の貴録を見せる

池野理事の訓話を聞く横山竜星君



数で圧倒する新入寮生たち（前列）



法人運営

法人役員異動 — 理事退任と監事交代

法人の役員を担っていた池神利勝理事は令和4年2月頃より体調を崩され、ご家族から職務執行が難しいので退任したい旨の申し入れがあったため、3月20日付で臨時評議員会を開催（みなし決議）し、退任が決定した。また、同じく法人の役員を担っていた葛岡龍夫監事より、一身上の都合により6月開催の定時評議員会終了をもって退任したい旨の「辞任届」が提出されたため、5月28日の理事会にて後任の監事候補者として弁護士の後田健太郎さん（舎友No.593）の推薦を決定し、6月18日開催の定時評議員会に発議し、承認された。任期中での異動のため、現役員（理事10名、監事2名）の任期は来年（令和5年）6月の定時評議員会終了までとなった。

【退任役員】池神利勝(理事)、葛岡龍夫(監事) 【新任役員】後田健太郎(監事)



後田健太郎新監事

法人運営

6月18日 定時評議員会開催 ～3年ぶりの対面開催～

令和4年6月18日午後2時、アルカディア市ヶ谷4階「飛鳥」において公益財団法人信陽舎の定時評議員会が開催された。コロナ禍のため2年続きで書面（みなし）決議での開催となっていたため、対面での開催は3年ぶりとなった。出席者は以下の通り評議員10名（総数11名）に役員7名とオブザーバーの寮生2名（寮長、副寮長）の計19名であった。（以下敬称略）

【評議員】 古島史雄（47）、久保田光昭（58）、牧内良平（91）、片桐勝臣（110）
福田璋夫（116）、鈴木昭夫（154）、牧野憲治（157）、浅沼弘愛（172）
五島久揮（176）、小林 隆（354）

【役員】 林 史典（67）、深澤克巳（115）、福與卓臣（117）、伊原江太郎（147）
池野兼浩（298）、岩原 優（580）、後田健太郎（593）

【寮生】 中村 翼（647：寮長）、太田 悠（653：副寮長）

定刻の午後2時、評議員の互選により古島史雄さんが議長となり以下の議案の審議を行い、全ての議題が出席評議員全員の賛同を以て承認された。

- 議題1. 令和3年度事業報告の件
- 議題2. 令和3年度決算計算書類の件
- 議題3. 令和3年度事業運営並びに会計監査報告
- 議題4. 監事1名の辞任並びに後任候補者選任の件

続いて、報告事項として理事長の福與より、令和4年度事業計画並びに収支予算、令和4年度寮生募集活動・結果報告と寮生活の近況報告が行われ、午後3時閉会となった。

過去2年間、コロナ禍のために法人の会議（理事会・評議員会）は対面での開催ができず悩ましい思いを募らせていたが、対面での開催の意義を思い知らされた次第です。（福與記）



法人からのお知らせ

法人役員募集！

青春の思い出を育んでくれた信陽舎に恩返しをしませんか！
寮運営のお手伝いをしていただける方は下記事務局までご連絡ください。

《 事務局からのお知らせ 》

☎ お便り大歓迎！ ☎

舎友の皆さんの近況報告や寮生活の思い出、あるいは親しい舎友の情報など気軽にお寄せください。

また、寮の運営に関するアドバイスや信陽舎の知名度を上げるためのアイデア、会報の編集内容に関する助言なども大歓迎ですので、下記事務局宛に郵送・メール・ライン等でどしどしお寄せ下さい。

☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っておりません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、舎友の連絡先を必要とされる場合は、下記の事務局までお問合せ下さい。

また、住所移転などにより所在不明となっている舎友が多数おられますが、お知り合いの舎友で会報等が届いていない方がいた場合は、お手数ですが下記事務局までご一報いただければ幸いです。

《 会報「武蔵野」編集委員 》

福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)
深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)
原 誠(220)	仁科 圭右(306)
田中 淳一(470)	岩原 優(580)

文中挿入の挿絵等の作画は福與卓臣

発行人：林 史典（会長）

事務局：福與卓臣（事務局長）

〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8

☎ (045) 902-2575 携帯☎ 090-9841-6349

E-mail : tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第11号 令和4年9月1日発行